

## 第15回（仮称）新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会

### 傍聴者意見

：候補地が絞られているので、びっくりした。もっと多くの候補地が出ると思っていた。2年前に長岡市に視察に行き、そこではプラスチックを集めて、箱型に押しつぶして、それを再資源化して新日鉄に売っていた。それは高く売れて、ペイできるものであった。真剣に焼却を減らしていくことを考えると、不燃ごみと粗大ごみ処理施設の場所をここに置いて、ごみ焼却場をコンパクトに出来るのではないか。その場合の候補地を話し合ったのか？廃校になったところもあり、本気で探そうと思えば、見つけれられるのではないか。現有地周辺には30年苦勞をかけてきており、先にローテーションを考えるべき。

：本委員会の役割はクリーンセンターの問題、課題を全市的に広げていくキッカケを作ることではないか？報告書作成については初めて一読する人を意識していない。あくまでも市民の目線を忘れないでほしい。専門的になり過ぎると、素朴な視点及びいていねいな説明が抜け落ちてしまう。本検討委に求められたのは市民参加であり、市民協働の具体化なのではないか？傍聴者や勉強会参加者やパブリックコメント提出者の目をしっかり意識して委員会進行をしてほしかった。本当にもったいないです。残念。最終報告書（案）が行政が作成した報告書に感じてしまいました。市民の目線を活かすために本検討委がやった活動も具体的に加えていき、プロセスをしっかりと見せてほしいです。ソフト運営の強化は、この会の役割ですよね。検討委なのだから、プロセスを見せていこうよ。

：中間のまとめから発展した部分として、将来展望した考え方は評価できる。すなわち、7～8Pの分散配置の可能性。11～13Pの将来の可能性をふまえた境公園を抽出した点。これらの将来を展望した考え方を4～5Pに盛り込むべきでは。そして、新施設建設の決定をして以降の将来に向けた検討を続けていくという方向性を示してほしい。

：検討委員会は「クリーンセンター建て替え」に対するパブリックコメントの集大成だと私は考えます。建て替えという本題を具体的に（考える）委員会であれば、専門的な内容・コストについて法制度の根拠について詳しく書き込まなければならないでしょう。この検討委員会は『まちづくりという視点』でクリーンセンターという施設の在り方と求められる条件について市へ明確に伝え、真に全市民が誇れる方向を示す報告書であるべきかと思います。P.10の書き方を再考お願いします。外部からは市役所の向いに廃棄施設が建てられている事実が高く評価されていますが、報告書には書かれていないことに違和感があります。報告書はもっと人間味の感じられる内容、表現で書かれ、将来が市民一人ひとりに想像できる指針であってほしいと思います。委員会の構成員が男性（女性1人）に占められていることは大いに不満です！